

株式会社 田中印刷

偽造防止デザインの高度化や高品質要求に対応した印刷物の作成

偽造防止技術などセキュリティ要求の高い印刷物の高品質化に取り組み、情報加工サービスの新たな価値を生み出す。

主要製品 高い技術力・提案力で、高付加価値商品を創る



バックカーボン・製本



ノーカーボン ナンバー印字
事務用帳票



医療関係
(取扱説明書)



商品券
(偽造防止)



オリジナル製品

代 表 者 田中 辰法

設 立 1981年2月2日

資 本 金 45,000千円

従業員数 43人

業 種 印刷業（商品企画から製造までのトータルサポート）

所 在 地 〒601-8203 京都府京都市南区久世築山町452番地4

T E L 075-933-2191

U R L <https://www.tanaka-kp.co.jp/>

取組のきっかけ

◆ 付加価値の高い商品への進化

当社は1950年に創業し、その主要製品を創業時の名刺・封筒から連続打出し用帳票、手書き用伝票、医薬品関連印刷物、金券類の印刷と、お客様のニーズに合わせ、より付加価値の高い商品へと進化させてきました。当社の強みは高い印刷加工技術で日々変化する市場ニーズに合わせお客様の求める商品・サービスをいち早く実現できることです。



本社社屋



本社工場設備
(品質検査機能のある印刷ライン)

◆ 偽造防止技術の高度化への対応

近年、印刷市場はデジタル化、ペーパーレス化で縮小してきました。その中でコロナ禍における自治体、企業の商品券等の増加があり、限られた予算でより高度な偽造防止機能が可能なセキュリティ印刷が求められました。また、ワクチン接種券、予診票では個人情報保護に留意した接種者の氏名など個別データを印字するバリアブル印刷が求められました。

当社ではセキュリティ印刷とバリアブル印刷の両方が可能です。社内一貫で処理し品質管理できることは金券類や個人情報扱う上で安全性を訴求する大きなポイントです。

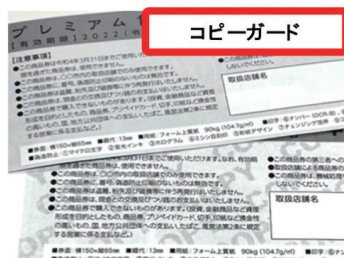
とは言え、これ迄の設備、システムでは入稿されたデータの多くが機械的に印刷処理できずオペレーターの人手による多大な変換作業が必要でした。このため受注対応に限界がありました。

取組内容

◆ 高性能設備の導入による品質、生産性の向上

クライアントから入稿されるデータは、RIP(Raster Image Processor)により文字や絵柄を網点データに変換し、製版機で版に焼き付け、この版を印刷機にセットして印刷します。

デザインの細かな線や色を忠実に再現できるかはRIP処理と刷版が重要となります。



コピーガード



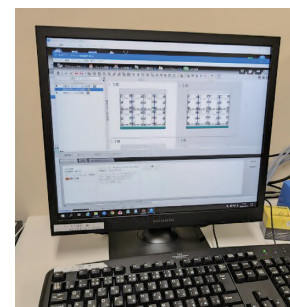
マイクロ文字

繊細な絵柄や線の均一さが重要

本事業で最新型RIPシステム『EQUIOS』への統一を進め、入稿データの様々なソフトの多機能・複雑化するバージョンにも機械的に対応、いかなるファイル形式も安全に変換できるようになりました。

製版機にはサーマルプレートレコーダー刷版機を導入し、ファイバーレーザーダイオード光源による線・横線のバランスが良い忠実な網点描画が可能となり、コピーガードとして要求される繊細なデザインも印刷物に反映することができました。

新設備の導入により生産性と製造コストが改善、生産速度は約2倍となり利益率も改善しました。



RIPシステムをインストールしたパソコンと
サーマルプレートレコーダー刷版出力機



◆ 効果的な偽造防止加工の提案

商品券などの様々な金券、DMや圧着ハガキなど個人情報の印刷をデータ作成から印刷・製本加工まで厳重な品質管理のもと社内一貫生産で対応します。お客様のニーズに即し迅速に対応することが可能となりました。

社内工場では様々な偽造防止技術の実績があります。各工程の品質検査体制を整えており、重要な情報が記された書類の不正コピー防止や金券類を安全に製造、納品することが可能です。

自治体の商品券、ワクチン接種券の需要はコロナ禍における一過性のものでしたが、その後、この技術・設備を民間の需要、具体的には企業の株主優待券、商店街の商品券等への提案に活かすことができています。



プレミアム付商品券の偽造防止技術の例

今後の展開

◆ 情報加工サービスにおける価値創造

商品券・金券類の製造における偽造防止加工は付加価値を高めていく取り組みの一つでした。

今後、ペーパーレス化の中、印刷だけでなく、高度な品質保証を担保する専用データ作成を始め、偽造防止技術の開発、その製造に最適な製造設備、また、品質管理体制を向上させていきます。

従来の「紙」から「情報」に焦点をあて、情報加工サービスとして価値創造を図っていきます。

◆ 「残る紙」への挑戦

もう一つの取り組みは「残る紙」「嗜好品の紙」に着目し印刷と加工の組み合わせで付加価値を高めることです。形、大きさなどの加工は印刷に比べ差別化できる要素が大きいのです。

具体的には合紙を使い絵柄印刷にマッチしたものに形や大きさを加工します。合紙は紙を貼り合わせることで、形、色、強度や厚みを変えオリジナルの製品を作ることができます。合紙を用い、色や柄のバリエーションに対応したミニ色紙や、裏面の色をキャラクターに合わせた推しカラー色紙など、様々なサイズ・仕様で予算にあった提案を行います。



集めるコレクタブル色紙
様々なサイズ・仕様に対応

思わず収集したくなるようなコレクタブル色紙の企画・提案などは今までにない価値創造の仕事として社員のやりがいにつながっています。また、合紙の加工は社外の協力会社にも参画してもらい複合的提案の幅を広げます。社内外で行う価値の共創の取り組みでもあります。

紙の良さにもこだわり、情報加工サービス業としてデジタルの良さとの融合で変革を進めていきます。